

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年4月30日
 学校法人 別府サレジオ学園
 大分明星幼稚園

1、本園の教育目標

ドン・ボスコの教育理念に基づく全人間教育

神と人に開かれた善良で誠実な子ども：「明るいい心・きれいな心・しなやかな心」

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

創立70周年を迎え、歴代の教職員に感謝するとともにコロナ禍にあって一人ひとりが愛されていると実感できるドン・ボスコの教育を実践する。

- ① 本園の歴史を掘り起こし、初期の精神に立ち戻りながら、愛を実感できる教育を実践する。
- ② SDG s の継続：「みどりの世界」を作り出すために各学年の目標を基に子どもと一緒に取り組む。
- ③ 園内研修：学びをつなぐ教育課程～3つの資質・能力を踏まえたねらい・内容の見直し～

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	本園の歴史から初代の精神を学び、愛が実感できる教育を実践する。	A	70年の歴史について研修し、これまでの園の歩みを知り、行事毎に子ども達と一緒に感謝した。100年に向けて話し合い、創立者ドン・ボスコの教育が現代に必要であることを再認識し、時代に適応した保育にしてきた。
2	「みどりの世界」をつくり出すために子どもと一緒に取り組む。	A	子ども達が常に意識できるように集会で知らせ、掲示や言葉かけを行った。食育で栽培した野菜を食べ、もち米とぎも体験した。また、絵本を教材にしてクラスで回し読み、子どもに問題提起をしながら、一緒に考えた。おにぎり献金も意図を意識した。
3	学びをつなぐ教育課程になるために内容を改定する。	B	子どもの姿から教育課程を定期的に話し合い、見直したことを週案や日案のねらいや内容に反映し、改善した。今後もドキュメンテーションを入れ、さらに改善したい。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があったにして D：成果がなかった）

4、総合的な評価結果

評価	理由
A	創立の70周年を迎え、研修によって本園が戦後の子ども達の心と体を元気にする目的で建てられたことを学んだ。これらのことから建学の精神を深め、益々子どもを中心にした教育になるよう教職員が一丸となって取り組んだ。遊びが継続する園庭になるようにリニューアルし、行事毎に70周年に感謝しながら、100年に向けて教育を刷新する歩みを踏み出すことができたため。

5、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	宗教教育	担任がキリスト教の教えを保育に浸透させるために聖書や聖人の生き方を学ぶ。
2	SDG s	身の回りのことから地球規模に目を向ける活動を取り入れる。
3	情報共有	ホームページを通して保護者や地域にブログや子育て支援活動の情報を更新する

6、学校関係者評価委員会の評価

*どの行事の中でも70周年を祝い、「70歳おめでとう」の記念歌を作詞作曲して子ども達にも創立の喜びを味わわせようとした教員の工夫が伝わり、在園できていることをありがたく思った。
 *みどりの合言葉一みずを大切に・どんなものも食べる・リサイクルが分かりやすく、家庭にも浸透した。
 *園が就学前の準備を子育ての中で行っているの、小学校に行った時、安心してスタートできる。